

「平成29年度袖ヶ浦市まちづくりアンケート調査」結果の概要

1. 調査目的

本調査は、3年を周期に実施しているもので、これまで「袖ヶ浦市政に関する市民意識調査」として、市の施策に対する市民の満足度・重要度及び、日常生活の意識を調査し、市民のニーズ等を的確に捉え、実施計画の策定などに活かしていくために実施してきました。

今回の調査は、平成32年度からスタートする次期総合計画策定作業の中で「袖ヶ浦市まちづくりアンケート」として実施したものです。本調査は平成14年度から実施しており、今回で6回目となります。

2. 調査概要

調査対象：袖ヶ浦市内に住所を有する18歳以上の男女3,000名

抽出方法：住民基本台帳を用いた無作為抽出

実査方法：郵送による調査票の配布・回収

調査時期：平成29年9月から10月

回収数：1,291

回収率：43.0%

3. 主な調査項目

- ・袖ヶ浦市への愛着・住みやすさ・今後の居住意向
- ・総合計画にある38施策について、52項目の満足度と重要度を5段階で回答
- ・普段の暮らしや感じていることについて、19の設問に「はい」又は「いいえ」で回答
- ・地域活動への参加、防災・防犯、子育て、高齢者福祉、教育、環境、産業振興、市内の土地利用、市政について、それぞれの設問に回答
- ・年齢、性別、職業、居住地区等回答者の属性

4. 調査結果の概要

【愛着・居住意向】

6割以上の市民が袖ヶ浦市に愛着を感じている。

・「愛着を感じている」は、「自営業主（79.2%）」、「60～64歳（71.2%）」、「居住年数20年以上（69.9%）」、「昭和地区（65.3%）」などで多く、「愛着を感じていない」は、「30歳代（15.9%）」、「根形地区（14.6%）」、「学生（11.2%）」などで多い。

・「生まれ育った場所」か否かに加え、「生活環境」や「通勤、通学、買い物環境」における評価が愛着の有無につながっている。

約8割の市民が今後も住み続けたいとの意向となっている。

・「住み続けたい」は「60～64歳（85.6%）」、「給与所得者（83.5%）」、「昭和地区（82.5%）」、「長浦地区（81.4%）」、「居住年数20年以上（81.7%）」などで多く「住み続けたくない」は「居住年数3年未満（12.2%）」、「家族従業者（11.8%）」、「平岡地区（8.8%）」などが多い。

・居住意向の理由をみると、住み続けたい市民では「自然環境」への評価が高い。一方で、住み続けたくない市民では「買い物に不便だから（71.2%）」、「通勤・通学などの移動手段が不便だから（34.6%）」など生活利便性に対する理由が多くなっている。

【重要度と満足度】

全 52 項目のうち、42 項目において「満足している」が「不満である」を上回っている。

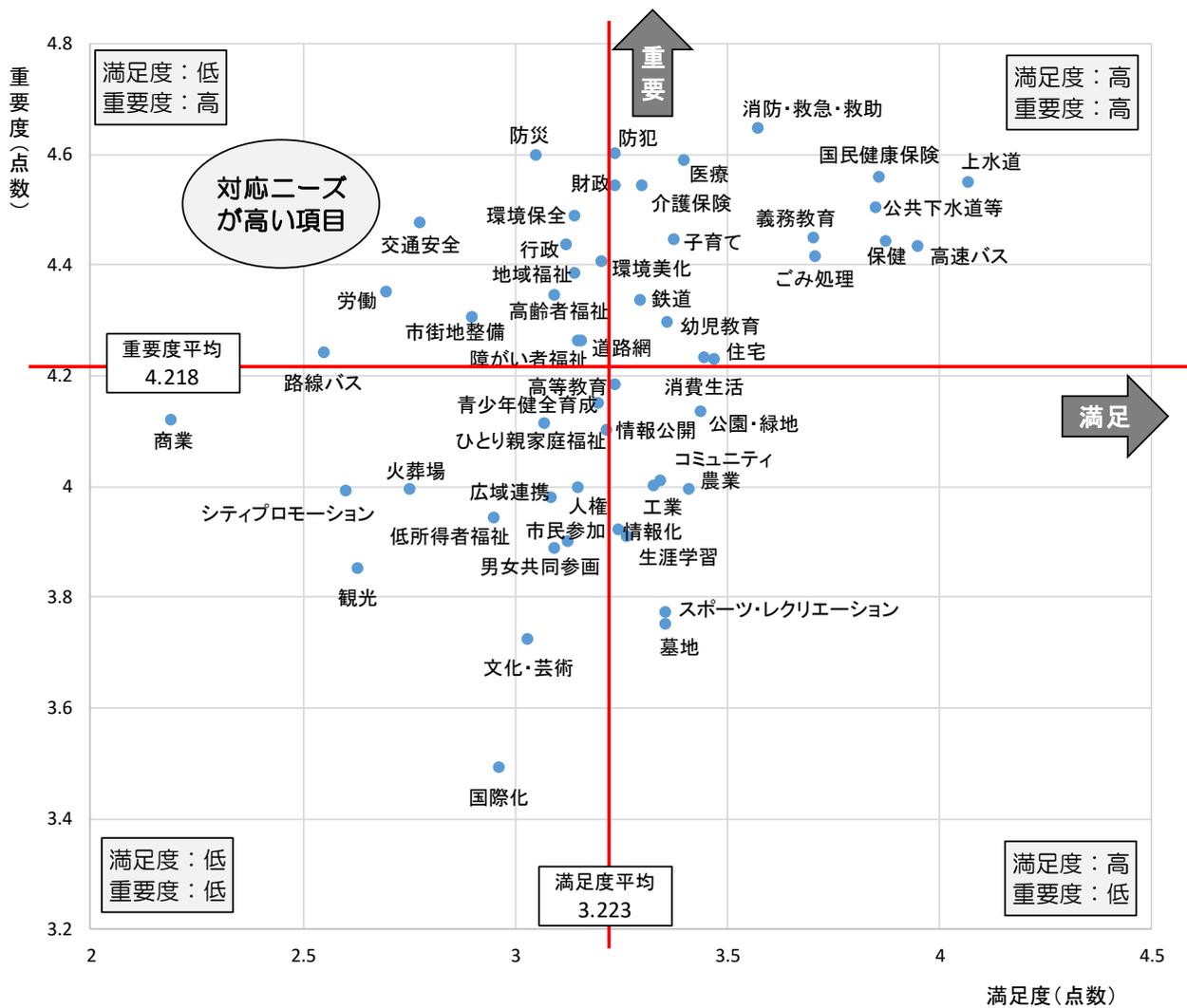
・満足度は「高速バス(73.7%)」、「上水道(73.2%)」、「保健(64.7%)」、「ごみ処理(62.2%)」、「公共下水道(59.5%)」などが高い。

・不満が多い項目は「商業(53.9%)」、「路線バス(43.7%)」、「観光(34.2%)」、「市街地整備(33.6%)」、「交通安全(31.8%)」などとなっている。

全 52 項目で「重要である」が「重要ではない」を上回っている。

・「重要である」は、「消防・救急・救助(88.2%)」、「防犯(87.7%)」、「医療(87.2%)」、「上水道(85.1%)」、「環境美化(84.8%)」などが多くなっている。

満足度と重要度を点数化した市民の対応ニーズが高い項目（満足度が低く、重要度が高い項目）は、「交通安全」、「路線バス」、「労働」、「防災」、「市街地整備」、「環境保全」などとなっている。



(満足度の経年比較：点数化)

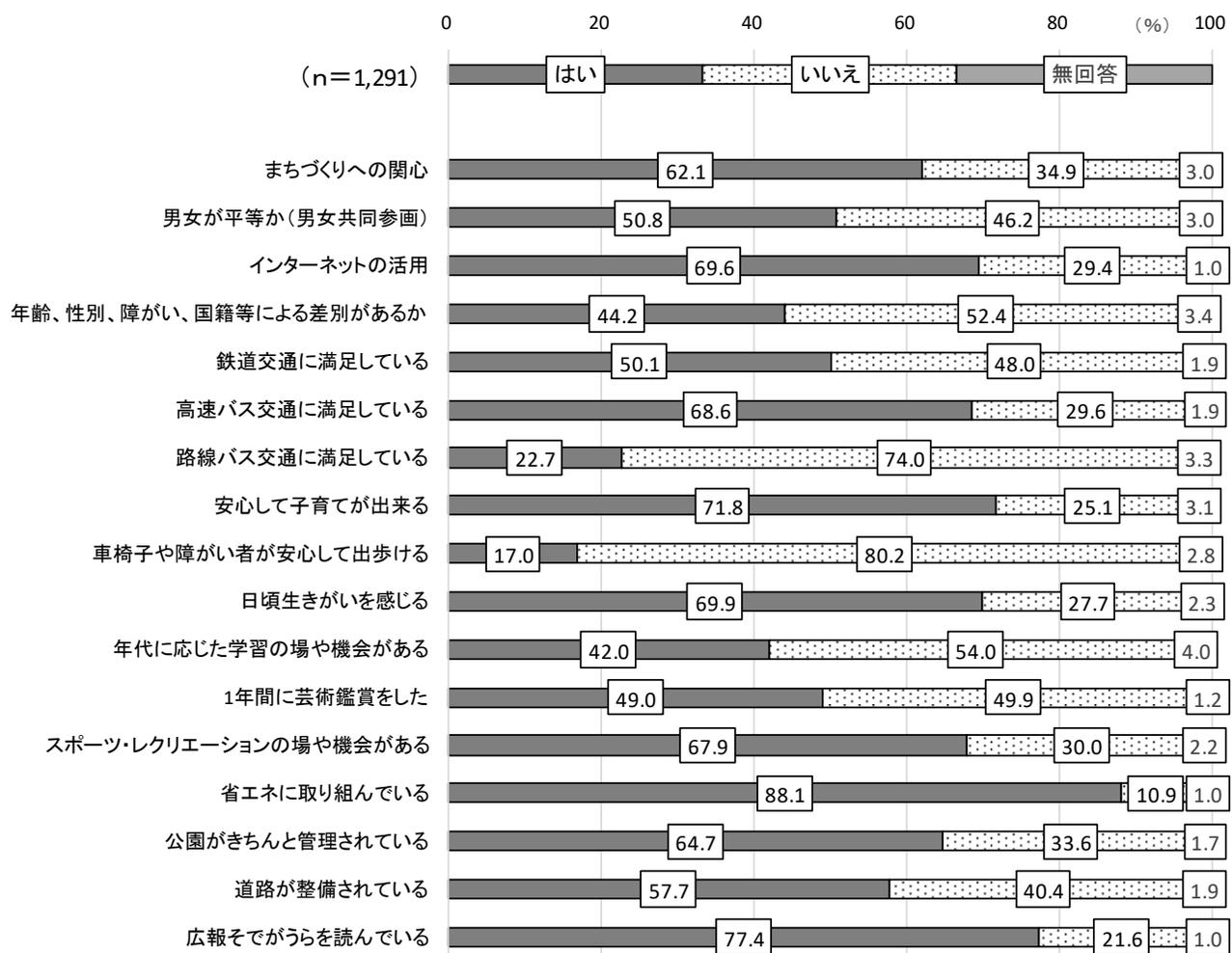
	H29年度	H26年度	乖離 (H29-H26)
平均	3.24	3.10	0.13
I 1 コミュニティ	3.34	3.36	▲ 0.02
I 2 市民参加	3.12	2.95	0.17
I 3 消費生活	3.44	2.97	0.47
I 4 男女共同参画	3.09	3.08	0.01
I 5 情報化	3.24	3.10	0.14
I 6 国際化	2.96	2.60	0.36
I 7 人権	3.15	3.36	▲ 0.21
I 11 墓地	3.35	3.23	0.12
I 12 火葬場	2.75	2.28	0.47
II 13 防災	3.05	2.80	0.25
II 14 防犯	3.23	3.01	0.22
II 15 交通安全	2.78	2.62	0.16
II 16 消防・救急・救助	3.57	3.31	0.26
III 17 地域福祉	3.14	3.10	0.04
III 18 国民健康保険	3.86	3.45	0.41
III 19 介護保険	3.30	3.05	0.25
III 20 ひとり親家庭福祉	3.07	3.06	0.01
III 21 低所得者福祉	2.95	2.73	0.22
III 22 子育て	3.38	3.24	0.14
III 23 障がい者福祉	3.15	2.92	0.23
III 24 高齢者福祉	3.09	2.95	0.14
III 25 保健	3.87	3.69	0.18
III 26 医療	3.40	3.14	0.26

	H29年度	H26年度	乖離 (H29-H26)
IV 27 幼児教育	3.36	3.27	0.09
IV 28 義務教育	3.70	3.63	0.07
IV 29 高等教育	3.23	3.22	0.01
IV 30 青少年健全育成	3.20	3.14	0.06
IV 31 生涯学習	3.26	3.26	0.00
IV 32 文化・芸術	3.03	3.10	▲ 0.07
IV 33 スポーツ・レクリエーション	3.35	3.36	▲ 0.01
V 34 環境保全	3.14	3.40	▲ 0.26
V 35 環境美化	3.20	2.77	0.43
V 36 ごみ処理	3.71	3.51	0.20
VI 37 農業	3.41	3.15	0.26
VI 38 商業	2.19	2.51	▲ 0.32
VI 39 工業	3.32	3.20	0.12
VI 40 観光	2.63	2.58	0.05
VI 41 労働	2.69	2.49	0.20
VII 42 市街地整備	2.90	3.04	▲ 0.14
VII 43 公園・緑地	3.44	3.29	0.15
VII 44 道路網	3.15	3.22	▲ 0.07
VII 45 上水道	4.07	3.94	0.13
VII 46 公共下水道等	3.85	3.58	0.27
VII 47 住宅	3.47	3.46	0.01
VIII 48 財政	3.23	2.86	0.37
VIII 49 行政	3.12	2.87	0.25
VIII 52 情報公開	3.21	3.05	0.16

【普段の暮らしや感じていること】

経年比較は、比較可能な18項目のうち12項目で前回（平成26年度）を上回っている。

- ・「省エネへの取り組み（はい：88.1%）」、「広報そでがうらを読んでいる（同77.4%）」、「安心して子育てができる（同71.8%）」などで肯定的（そう思う）意見が多く、「車椅子や障がい者が安心して出歩ける（いいえ：80.2%）」、「路線バス（同74.0%）」、「年代に応じた学習機会や場がある（同54.0%）」などで否定的（そう思わない）意見が多くなっている。
- ・経年比較で前回を上回った項目では「まちづくりへの関心（26年度比+15.8%ポイント）」、「男女が平等か（男女共同参画）」、「高速バス交通に満足している（同+6.4%ポイント）」、「安心して子育てができる（同+5.5%ポイント）」などとなっている。一方で、「年齢、性別、障がい、国籍等による差別があるか（同▲12.5%ポイント）」、「年代に応じた学習の場や機会がある（同▲6.2%ポイント）」、「路線バス交通に満足している（▲5.1%ポイント）」などが前回比で悪化している。



(普段の暮らしや感じていること・経年比較・乖離降順)

	「はい」の割合		乖離 (ポイント) H29-H26
	H29年度 (今回:%)	H26年度 (前回:%)	
まちづくりへの関心	62.5	46.7	15.8
男女が平等か(男女共同参画)	51.1	43.8	7.3
高速バス交通に満足している	69.0	62.6	6.4
安心して子育てができる	71.9	66.4	5.5
車椅子や障がい者が安心して出歩ける	17.2	11.8	5.4
外国人が暮らしやすいか	33.3	28.3	5.0
青少年が健やかに育っている	69.5	65.3	4.2
インターネットの活用	69.8	65.9	3.9
スポーツ・レクリエーションの場や機会がある	68.2	64.9	3.3
公園がきちんと管理されている	65.0	62.1	2.9
鉄道交通に満足している	50.4	47.9	2.5
省エネに取り組んでいる	88.3	87.1	1.2
1年間に芸術鑑賞をした	49.3	49.7	▲ 0.4
広報そでがうらを読んでいる	77.6	79.4	▲ 1.8
道路が整備されている	57.8	61.2	▲ 3.4
路線バス交通に満足している	23.0	28.1	▲ 5.1
年代に応じた学習の場や機会がある	42.6	48.8	▲ 6.2
年齢、性別、障がい、国籍等による差別があるか	44.2	31.7	▲ 12.5

※乖離は「年齢、性別、障がい、国籍等による差別があるか」のみ(H26年度)-(H29年度)で算出